

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育実習指導Ⅱ Guidance and Evaluation Child Care Practicum Ⅱ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択必修)	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹利夫	講義棟2階	月・火・水・木の8時～18時		授業中に指示します
授業の概要				
保育所における実習に向けて、子育て支援を含めて保育所の機能を理解するとともに、乳幼児を含む子どもの見方と記録の取り方と係わり方について理解を深める。また、部分実習や責任実習にに向けての準備をし、発表し合う。				
授業の目標				
①保育所の役割と機能について理解することができるようにする。 ②子どもの見方と記録の取り方と係わり方について理解を深めることができるようにする。 ③実習に向けて教材や表現技術を研究できるようにする。 ④保護者に対する接し方について学ぶことができるようにする。				
授業の方法				
文字資料や映像を使って事例（ケース）を紹介し、具体的に子どもの見方や記録の取り方や係わり方を学ぶ。毎回、小レポート提出。また、学内における子育て支援活動での部分実習や学外実習先での部分実習や責任実習の内容を検討し、発表し合う。				
学習の成果（学習成果）				
①保育所における子育て支援機能について理解し、実践することができる。 ②子どもの見方と記録の取り方と係わり方について理解を深め、実際に子どもの成長を支援することができる。 ③教材を自ら作成し、豊かな表現活動を実行することができる。 ④保護者に対して適切な態度で接することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法)。各自が実習先の保育所の子育て支援活動について調べ、レポートにまとめる。			
第2回目	子育て支援活動について学ぶ。			
第3回目	子育て支援活動でのグループ分け。課題の説明。			
第4回目	子育て支援活動での部分実習についてグループごとに話し合い、準備をする。			
第5回目	子育て支援活動での部分実習について発表し合い、内容を検討する。			
第6回目	これまでの実習日誌を発表し合い、内容を反省する。			

第7回目	これまでの部分実習・責任実習の内容を発表し合い、内容を反省する。	
第8回目	保育実習に向けて、実習日誌の書き方を検討する。	
第9回目	保育実習に向けて、部分実習・責任実習の内容を検討する。	
第10回目	実習のエピソードを通して、子どもの理解と対応の仕方について学ぶ。	
第11回目	乳幼児との接し方。	
第12回目	保護者との接し方。	
第13回目	実習持参書類の準備と確認（健康チェックシート等の作成）。	
第14回目	保育実習に向けて、実習に臨んでの添削指導。課題や実習園でのオリエンテーションの確認。	
第15回目	保育実習に向けて、自己の課題を明確にする。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	45%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	20%	授業の課題に沿ってレポートを提出する。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。
調査報告書	10%	子育て支援活動に主体的に参加し、参加報告書を提出する。
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	25%	教材研究・表現活動に熱心に取り組み、その成果を発表する。
その他		
教科書と参考図書		
佐野短期大学「保育実習の手引き」		
履修上の留意点・ルール		
私語禁止。飲食禁止。		